

ダイヤデータの構造は以下の仕様になっています。

行程, 車両, 前駅発車時刻, 野分神社駅発車時刻, 回送指定, 予備

使用できる文字はすべて半角の数字・空白・カンマだけです。1行ずつ改行してください。

各項目間は必ず1つのカンマで区切ってください、カンマは省略できません。

最大行数は99行までです(最終データ込み100行まで)。最終データは必須です。

データ名は、半角・全角可、拡張子は.txt、文字コードはUTF-8、改行コードはLF

として下さい。行程の前後には空白文字は付けないで下さい。

【各項目の説明】

項目名	指定文字	説明
行程	0、 1、 2、 3、 4、 2桁で指定 9	<p>上一桁: 進入方向、下一桁: 出発方向</p> <p>1: 掌内方、2: 鯉沼方、3: 公園方、4: 藤花方、0: 運行なし</p> <p>例 12: 掌内方→野分神社→鯉沼方 43: 藤花方→野分神社→公園方</p> <p>1: 掌内方始発列車、2: 鯉沼方始発(前0は省略)</p> <p>10: 掌内方終着、20: 鯉沼方終着</p> <p>注 以下の行程は使用できません</p> <p>行程3・4・30・40・14・24・41・42</p> <p>9: 最終データ 最終行には必ず指定してください。</p>
車両	数字	<p>前駅出発・初期配置時点での車両画像を指定します。</p> <p>列車種別はこの車両指定と関連付けされています。</p> <p>牽引・貨物列車は、行程12, 21以外は指定できません。</p> <p>市営線を運転できる車両は36・37・38のみです。</p> <p>詳細は列車編成表マニュアルをご覧ください。</p>
前駅発車時刻	0~59	<p>前駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。</p> <p>行程1, 2(始発)は、0とします。</p> <p>重要各行は前駅発時刻の昇順に並べてください。</p>
野分神社駅 発車時刻	0~59	<p>野分神社駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。</p> <p>行程10, 20(終着)は、0とします。</p>
回送指定	0、1、2、3	<p>回送フラグ: 指定列車を回送に変更します。</p> <p>0: 全行程営業列車、1: 全行程回送、 2: 到着まで回送、3: 到着後回送。</p>
予備	0	<p>使用しません。0としてください。</p>

【注意事項】

数字入力注意

全ての数字には**前ゼロは付けしないで下さい、誤動作の原因**となります。(始発列車注意)

出発間隔、駅間運転時間について

前駅ー野分神社間の運転時間は2分です。前駅出発間隔は**2分以上**の時間を開けてください。
野分神社駅出発は1分で続行可能です。

折返しに必要な時間

30秒停車機能使用時は**4分以上**、未使用時は**3分以上**を見込んでください。

データの並び順

データは**前駅発車時刻が昇順**になる様に順序を確認して記述してください。
始発列車はデータの先頭に記述して下さい。
データの最後には最終データを記述してください。

始発・終着列車

始発・終着列車はそれぞれ**1列車のみ**設定可能です。
牽引列車・貨物列車は始発・終着に指定できません。
終着列車は到着後留置線に移動させます、再度運行する事は出来ません。

【データ作成からプレイまで】

- ① エディターやメモ帳などでダイヤを入力します。
PC等で入力してスマホへコピーする場合、文字コードはUTF-8、改行コードはLFである事を確認してください。
- ② アプリを起動して、サブメニューを開き、[ダイヤ読込]ボタンをタップします。
- ③ データ選択メニューが開きますので使用するダイヤを選択してください。

アプリでのデータ読み込み時のチェックは上記仕様の一部でチェックを省略しています。
チェックOKでも正常に動かない場合は、項目間の組み合わせを確認してください。
エラーが分からない時や、正常に動かない時は作成されたデータを添付していただき、
foxworks@haruki-kb.com まで送っていただければお調べ致します。

以上 FoxWorks